

冬休みの高校生活の過ごし方

自分の目標を意識することが、進路実現への第一歩です。今から何ができるか考えてみましょう。企業は新規高卒者を採用する場合、特別なスキルだけを求めているのではなく、基本的なマナーや常識、コミュニケーション力、仕事に対する意欲や行動力などに重点を置いている傾向があります。その基礎となる力は、学校や家庭で過ごす中で身に付けていくことができるものです。

ここでは、社会人として必要な力を意識するため、経済産業省が提唱している「**社会人基礎力**」を紹介します。右の3つを意識して冬休みを過ごしてみたいはいかがでしょうか。

労働契約を知っていますか？

働く前に **きちんと確認**

皆さんが仕事をするとき、仕事の内容や給料、勤務日数などの労働条件について、実際に働き始めたら最初に聞いていたことと全く条件が違っていたら大変です。そこで、労働基準法では、労働契約を結ぶときに、会社が労働者に労働条件を明示することを義務として定めています。

特に、次の6項目については、口約束だけではなく、原則として書面を交付しなければいけません（労働基準法第15条）。

例外的に、労働者本人が希望する場合には、FAXや電子メールによる明示も可能とされています。

- ① 契約はいつまでか（労働契約の期間に関すること）
- ② 期間の定めがある契約の更新についてのきまり（更新があるかどうか、更新する場合の判断のしかた）
- ③ どこでどんな仕事をするのか（仕事をする場所、仕事の内容）
- ④ 仕事の時間や休みはどうなっているのか（勤務時間、残業の有無、休憩時間、休暇、勤務のローテーションなど）
- ⑤ 賃金はどのように支払われるのか（賃金の決定、計算と支払い方法、締切りと支払いの時期）
- ⑥ 辞めるときのきまり（退職に関すること（解雇の事由を含む））

【**社会人基礎力**とは】 経済産業省が主催した有識者会議により、**職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を「社会人基礎力（= 3つの能力・12の能力要素）」**としての定義です。

『前に踏み出す力（Action）』

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



主体性

物事に進んで取り組む力

働きかけ力

他人に働きかけ巻き込む力

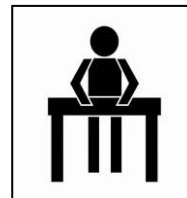
実行力

目的を設定し確実に行動する力

指示待ちにならず、**一人称で物事を捉え、自ら行動できるように**なることが求められている。

『考え抜く力（Thinking）』

～疑問を持ち、考え抜く力～



課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

計画力

課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

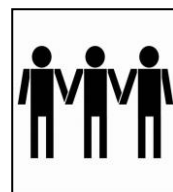
創造力

新しい価値を生み出す力

論理的に答えを出すこと以上に、**自ら課題提起し、解決のためのシナリオを描く、自律的な思考力**が求められている。

『チームで働く力（Teamwork）』

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



発信力

自分の意見をわかりやすく伝える力

傾聴力

相手の意見を丁寧に聴く力

柔軟性

意見の違いや相手の立場を理解する力

状況把握力

自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

規律性

社会のルールや人との約束を守る力

ストレスコントロール力

ストレスの発生源に対応する力

グループ内の協調性だけに留まらず、**多様な人々との繋がりが協働を生み出す力**が求められている。